

陳情文書表 (令和8年6月8日定例会提出)

陳情第21号

森田一成奈良市議による本会議における居眠り、及び道端副議長の対応について改善措置の陳情

令和8年5月28日受理

陳情者



中西哲也

陳情の趣旨

奈良市議会議員・森田一成氏（自民党）の本会議における居眠り行為、及び当時進行役を務めていた副議長・道端孝治氏（自民党）の対応について、適切な調査と改善を求めます。

陳情の理由

1. 森田一成議員の居眠りについて

奈良市議会本会議において、森田一成議員が居眠りをされていた様子が、傍聴者や議会映像により確認されています。

議会は市民の代表として、税金で報酬をいただき、重要な決定を行う場です。眠気により集中が途切れる状況は、議員として望ましい姿とは言えません。特に67歳で9期目という長年の経験をお持ちのベテラン議員として、市民の期待に応える議会運営に努めていただきたいと存じます。

2. 道端孝治副議長の対応について

当該会議で進行役を務めていた道端副議長は、森田議員の状況を認識されていたと思われませんが、注意や休憩の指示などは行われませんでした。

副議長には議会運営の公正性を確保する責任があります。党派の後輩であることを考慮した可能性もありますが、進行責任者としての対応が十分でなかった点について、改善の余地があると考えます。

3. 市民の信頼維持の観点から

奈良市民は議員の皆様に多額の報酬と経費をお支払いしています。その対価として、真摯で責任ある議会運営が求められています。

こうした事例が放置されると、市民の議会に対する信頼が損なわれる懸念があります。特に自民党所属議員として、党全体の信頼にも影響しかねません。議会全体の信用向上のためにも、適切な対応をお願いいたします。

陳情の要求事項

1. 森田一成議員に対し、適切な注意・指導を行い、再発防止に努めること。
2. 道端孝治副議長の対応についても検証し、議会運営の改善策を講じること。
3. 今後、全議員を対象に「議会中居眠り防止」のルールを明確にし、違反時の注意・対応手順を定めること。
4. 本陳情に対する審議結果を、文書にて陳情者に通知すること。

以上、市民の代表である奈良市議会のよりよい運営を心より願って陳情いたします。